

教科(科目)	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	光村図書 『書Ⅰ』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につけさせるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉え足りることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

3 指導の重点

- ・書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に幅広く関わる資質・能力の育成を目指します。
- ・毛筆、硬筆書写検定の合格を目指します。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
背景となる文化の鑑賞や関わりを通して、各分野で意図に基づく表現にしようとしている。 漢字の書・仮名の書、漢字仮名交じりの書、篆刻において線質、運筆、書風の関わりに基づいた表現にしようとしている。	書を構成する要素を知りそれを生かしながらか構想し、工夫する表現にしている。 臨書、創作等を意図に応じた作品にできるようにしている。	生徒の特性等を生かし、書を愛好し、感性を高め心豊かな情操を養うようにしている。 美の多様性を知り、古典を通して主体的に考えて取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点をふまえ、 ・提出物の内容確認 ・書写技能検定取得の取り組み などから評価します。	以上の観点をふまえ ・古典の臨書 ・創作（共同作品含む） ・書表現取り組みの観察等 から評価します。	以上の観点をふまえ ・授業中の取り組みの観察 ・提出物の内容確認 から評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	用具・用材 行書の基本	ビデオ	・文房四宝の知識 ・書写し自己評価する	3 3	提出作品 授業態度 等 b
5	行 書	図版	古典の臨書	6	提出作品 授業態度 等 a
6	篆 刻 刻 字	図版 プリント	模刻 名前を刻る	6	提出作品 授業態度 等 c
7 9	創 作		グループでの共同作品	12	提出作品 授業態度 等 a
10	漢字・仮名交 じりの書 創 作	ワークシート	作品の構成等表現の工夫をする	8	提出作品 授業態度 等 c
11	仮 名	テキスト	古典の臨書、姿勢・執筆について	8	提出作品 授業態度 等 a
12 1	書写検定	過去問プリント	各問いの要点を知り、練習する 合格ラインに届く書写	14	提出作品 授業態度 等 a
2	写 経	テープ	読めるようにする 小楷の基本	6	提出作品 授業態度 等 b
3	実 用 書	プリント	役立つ書式	2	提出作品 授業態度 等 c
	水 墨 画	プリント	墨の濃淡・筆の扱い	2	提出作品 授業態度 等 c

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

それぞれの学習ごとに作品提出を求めます。

8 担当者からの一言

「書 1」では美に対する感性を高め、生涯にわたって芸術を愛好する心を養っていきます。一人一人の特質を生かして学習していきましょう。

(担当：佐藤 純子)